

としま 議会だより

平成 28 年 11 月 28 日発行 (年 4 回発行) Toshima Village Council 2016. 11. No. 75



▲平島大運動会の様子

TOPIX

●平成 28 年 9 月臨時議会

- ・ 9 月 8 日～9 月 16 日 (9 日間)
- ・ 決算の認定など 19 議案を審議
- ・ 全て全会一致で可決

●決算について

一般会計歳出決算約 8 億 2900 万円の減少

●決算審査特別委員会について

●町村議会議長全国大会に 正副議長が出席

条例の一部改正

○ 十島村重度心身障害者医療費助成条例の一部改正

下記の内容の一部改正を可決しました。

- ・障害者の定義に難病等を追加
- ・ケアホームのグループホームへの一元化などを行うための改正
- ・重度訪問介護の対象者の拡大
- ・法律の名称の変更

これは、「障害者自立支援法」の名称が、平成24年6月に「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）」に改正されていることに伴うものです。

契約の締結

○ フェリーとしま第一種中間検査及び一般工事請負契約の締結

契約目的：平成28年度「フェリーとしま」第一種中間検査及び一般工事

契約方法：本村建設工事指名競争参加等の基準に基づき3社を選定し、電子入札による指名競争入札で執行。

契約金額：総額 89,964,000 円

契約相手：鹿児島ドック鉄工株式会社 代表取締役 野元 達美（平成28年8月15日付、仮契約締結）

工事内容：船舶安全法の規定により実施する検査工事と一般工事

- ①救命設備の点検・整備
- ②塗装工事
- ③主機シリンダー等の整備
- ④発電機のシリンダー等の整備
- ⑤主機・補機、及び過給機、並びに減速機等の整備・点検

○ 動産の買入れ

買入物件：油圧ショベル・ブッシュチョッパー各1台

契約方法：本村指名競争参加等の基準に基づき4社を選定し、電子入札による指名競争入札で執行。

契約金額：総額 16,513,200 円

契約相手：株式会社ニットク 代表取締役 江夏 洋（平成28年8月25日付、仮契約締結）

納入物品：住友建機株式会社製油圧ショベル

仕様 S H135X-6型、バケット容量0.50 m³、強化型分割式ゴムクローラ、500 kgカウンターウェイト付き

納入期限：平成28年11月30日

○ 東之浜港改修工事請負変更契約の締結

契約目的：東之浜港改修工事の請負変更契約

変更契約金額：34,602,004 円増額の総額 329,500,000 円

契約相手：吉留建設 株式会社 代表取締役 岩崎 敏郎（平成28年8月26日付、仮契約締結）

変更内容：ケーソン製作に使用するF Dの規格を5,000 tから8,000 tに見直し。

重量的には、4,000 tのケーソンなので、5,000 tの規格で十分だが、異形函であるため、縦横の面積がクリアできず、今回の製作ケーソンに見合ったものを、在港調査を実施して選定したところ、8,000 t型となった。

契約期間：当初契約のとおり平成29年1月31日

○ 小宝島港改修工事請負変更契約の締結

契約目的：小宝島港改修工事の請負変更契約

変更契約金額：61,074,172 円増額の総額 320,500,000 円

契約相手：吉留建設 株式会社 代表取締役 岩崎 敏郎（平成28年8月26日付、仮契約締結）

変更内容：着工前測量結果に基づき数量の変更、上部コンクリート打設を140 m³減し、1,803 m³の打設を行う。

被覆ブロック（86.114 t）については、現在のケーソン前面に基礎洗掘防止対策として、18個製作増し、当初数量分と併せて計38個を仮置きし、事業の促進を図るものです。

契約期間：事業増に伴い、平成29年2月28日を17日間延長し、平成29年3月17日

○ 小宝島港泊地（-5.5m）浚渫工事請負契約の締結

契約目的：小宝島港泊地（-5.5m）浚渫工事

契約金額：総額 254,556,000 円

契約相手：竹山建設株式会社（平成28年9月14日付、仮契約締結）

工事内容：浚渫面積 1,985 m² 浚渫土量 19,940 m³

○ 中之島海岸線道路改良工事請負契約の締結

契約目的：中之島海岸線道路改良工事

契約金額：総額 96,336,000 円

契約相手：竹山建設株式会社（平成28年9月14日付、仮契約締結）

工事内容：護岸嵩上げ工 55m



▲小宝島港

十島村議会 平成28年9月臨時議会 議決結果

19 案件を審議 全て全会一致で原案のとおり可決しました。

開催期間 9月8日（木）～9月16日（金）（9日間）

審議した案件 ・村長提出議案 19件

可決・採決状況 ・原案可決（同意等） 19件

可決した主な議案 ・平成27年度決算の認定について（7件）

・平成28年度補正予算について（3件）

・十島村農地利活用に関する条例の一部改正

・十島村教育委員会委員の任命について（2件）

・契約の締結（6件）



▲9月議会の様子

平成27年度決算

- 平成27年度十島村一般会計歳入歳出決算の認定について
- 平成27年度十島村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成27年度十島村船舶交通特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成27年度十島村介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成27年度十島村介護サービス特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成27年度十島村簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成27年度十島村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

★決算の概要については、
4ページ～5ページ

★決算審査特別委員会については、
6ページ～7ページ
をご覧ください。

平成28年度補正予算

- 一般会計 補正第2号 +332,327 千円 → 補正後 4,726,996 千円
- 国保特会 補正第1号 +1,307 千円 → 補正後 120,999 千円
- 介護特会 補正第1号 +4,347 千円 → 補正後 99,812 千円

★一般会計補正予算については、
8ページをご覧ください。

専決処分

- 十島村農地利活用に関する条例の一部改正
期間満了時「平成28年8月31日」において、期間中の事業の執行状況等を検証し、真に必要な条例であるかの見極めを行うため、終期を「平成32年8月31日」に定め、延長したものです。

人事案件

- 十島村教育委員会委員の任命について
教育委員会委員：口之島 長谷川 裕起 氏が任命されました。
- 十島村教育委員会委員の任命について
教育委員会委員：平島 上田 洋子 氏が任命されました。



平成27年度実施の主な事業の決算額

(事業費1千万円以上を記載) (単位:円)

総務費	積立基金費	282,132,329	地方創生(黒毛和種優良肉用繁殖)	45,990,183
	ブロードバンド施設管理費	37,869,393	特定離島(漁船漁業利便施設)	21,355,460
	特定離島(ブロードバンド対策)	21,006,000	補助離島活性化(水産施設)	27,025,200
	出張所費	54,348,671	特定離島(生活物資輸送費補助)	10,273,682
	県議会議員選挙費	13,269,522	地方創生(プレミアム商品券)	13,479,938
民生費	地籍調査経費	13,678,875	温泉施設整備費(セラム温泉整備他)	20,359,692
	定住促進対策事業費	25,167,952	ななしま運航費	13,752,634
	介護事業所運営事業	12,240,520	ななしま検査工事費	15,285,996
	後期高齢者医療費	13,834,871	道路維持一般経費	20,424,539
衛生費	児童措置費	10,240,000	特定離島(道路環境整備)	51,050,920
	地域子育て支援拠点事業	30,662,092	補助道路新設改良費	186,356,360
	診療所費	177,016,009	港湾管理一般経費	12,984,935
	塵芥処理費	26,293,055	特定離島(防波堤等整備)	40,028,020
農林水産業費	合併処理浄化槽整備事業	11,538,000	地域再生計画事業(港湾)	85,000,600
	就業者育成事業	30,578,762	補助港湾建設費	236,000,000
	畜産振興対策補助費	13,634,412	単独住宅建設費	40,953,821
	生産施設整備補助費(畜産)	12,471,932	補助離島活性化(空家改修)	10,000,000
	特定離島(畜産振興施設整備)	40,639,760	特定離島(山海留学)	12,623,210
			小学校維持補修費	17,556,389



▲ 全国大会の様子
▼ 日本離島センターを訪問



自民党 金子万寿夫議員等を訪問 ▼

第60回町村議会議長全国大会
～地方創生の実現をめざして～



町村議会議長全国大会に出席

平成28年11月8日から9日にかけて、第60回町村議会議長全国大会と第35回離島振興市町村議会議長全国大会が開催され、正副議長が出席しました。また、金子万寿夫衆議院議員をはじめとした、19名の議員の方々に、新船建造予算措置のお礼訪問をいたしました。

平成27年度 決算の概要

平成27年度の決算は、先に開催された9月議会で承認されました。

一般会計

・歳出決算8億2900万の大幅減少(19.9%)

前年度に比較して、歳入で約6億7300万円(15.7%)の減少で約36億466万円、歳出で約8億2900万円(19.9%)の減少で33億3953万円となっています。歳入歳出決算の大きな減少の要因としては、港湾建設、道路建設などの繰越が大きく影響しました。

国民健康保険特別会計

・後期高齢者支援金等により増加(9.4%)

前年度に比較して、歳入で約1200万円(11.1%)の増加で約1億2894万円、歳出で約1000万円(9.4%)の増加で1億2606万円となっています。歳入歳出差引額は、約287万円であり、この余剰金の内200万円を基金に積立し、残額を次年度に繰り越しています。後期高齢者支援金や共同事業拠出金の増加が主な増加要因となっています。

船舶交通特別会計

・燃料単価の下落等により減少(11.1%)

前年度に比較して、歳入で約8500万円(9.3%)の減少で約8億3788万円、歳出で約9600万円(11.1%)の減少で7億7799万円となっています。歳入は、国庫支出期及び県支出金の離島航路補助金の減少が大きく影響しているほか、消費税、貨物運賃等の減少により、前年度を大きく下回っています。歳出は、重油単価の下落等に伴い減少しています。

介護保険特別会計(事業勘定・サービス勘定)

・包括ケアシステムの構築開始に伴い増加(61.7%)

前年度に比較して、歳入で約2900万円(48%)の増加で約9229万円、歳出で約3500万円(61.7%)の増加で約9228万円となっています。平成27年度より、第6期計画に基づき包括ケアシステムの構築に向けた取組を開始し、地域支援事業を拡充し歳入歳出ともに増加しています。

簡易水道特別会計

・国庫事業縮小により減少(48.8%)

水道使用料が若干増加しているものの、簡易水道再編推進事業(国庫)の事業の縮小が大きく影響し、歳入歳出決算額は、前年度より約4440万円減少しています。

後期高齢者医療特別会計

・保険料は35.8%の増。農業所得増加による。

前年度に比較して、歳入で約87万円(13.1%)の増加で約755万円、歳出で約78万円(12.3%)の増加で約720万円となっています。歳入歳出差引額は、約35万円であり、次年度に繰り越しています。

平成27年度 決算審査から

〈総務課〉

問 公債費比率について

答 原則、当該年度償還元金以上の借入はしない方針で継続すれば、公債比率は抑えられると考える。今後は、通常の値に戻ってくるかと考えられ、それでも他の市町村と比較すると低くなっているが、18%を超えないように抑えていくことは必要と考える。

問 固定資産税について

答 本村は90%以上が償却資産となり、原価償却で年々価値が下がっていくことから税収も減少する。28年度は企業の参入で償却資産の増加があったため、調定額が上がった。一概に家屋だけでは大幅な増加は期待できない。

問 各島の避難所の寝具等の整備状況について

答 今年度の特定離島ふるさとおこし推進事業で、マット・毛布については、各島の人口+10組程度を整備することで入札が終了し、今年度整備となっている。

〈教育委員会〉

問 暑さ対策について

答 エアコンについては、財政的な部分でなかなか厳しい。昨年は全島保健室には設置している。

問 国民文化祭について

答 7つの島の住民が集まって発表し合うことは、意義のあることだと感じている。伝承活動がうまくいっていない島の文化を、イベントで披露することにより、再度復活、また持続して守られていくという利点もあるため、今後も実施していきたい。来年、体育大会を実施するが、次は文化祭という流れを考えている。

▼口之島住人による盆踊り



〈住民課〉

問 地域見守り支援事業について

答 住み慣れた地域、自宅でも生活をしたくない住民の高齢者の希望・要望をかなえるため、サポートをする旨で見守り支援員を運用している。今後、高齢者の方々が困ったことがあったら、支援員などを通じて、村に相談してほしい。

▼見守り支援サロンの様子



問 高齢者住居環境整備事業と高齢者等住宅改装推進事業について

答 類似事業であり整理されるべきと考える。危険木等についても、現業員などを活用して、補助金ではなく支援対策として行っていく。

〈特別会計〉

問 国保税の収入について

答 県の特別交付金は、収納率が前年度100%、本年度も100%の見込であれば、交付金に225万円加算され、前々年度も100%であれば更に300万円加算され、計525万円が追加交付される。平成26・27年度は収納率100%を達成できている。

▼国保特別交付金について

	国保収納率	
	前々年度	前年度
前々年度	100%	100%
前年度	100%	100%
本年度	100%	100%
加算交付金	225万円	300万円
	計525万円	

〈地域振興課〉

問 離島漁業再生支援事業について

答 今年度は、計画策定として浮き漁礁の先進地視察等を計画している。財政的な問題もあるため、地元の意見を徴収しながら協議し、設置の方向へ検討していきたい。

問 自生ヒサカキの移植について

答 28年度は悪石島にて5千㎡を試験的に検討している。他の島についても、自生ヒサカキが豊富な地域があるため、有効活用できるように検討していきたい。

▼悪石島のヒサカキ



〈土木交通課〉

問 災害の状況について

答 現時点で、口之島の西之浜地区及び塩見峠等の路線、平島の南之浜線の2地区で道路交通規制の処置を行っている。口之島は地すべり災害等も含めて通行止め。平島は法面災害で雨天時のみ通行止めとしていたが、台風通過後路面の陥没により全面通行止めとしている。

問 離島活性化交付金(支障木伐採)事業について

答 全体で千本程度を実施予定。松くい虫の対策ではなく、電線等の支障木の伐採が対象である。口之島、中之島でも松くい虫の被害が多くあるが、電線周辺の方を優先する旨説明している。台風通過後についても、倒木の処理依頼が多発しているため、事業予算が許す限り危険が及ぶ樹木に対して実施していきたい。

問 介護認定について

答 保健師、看護師、見守り支援員のスキルアップをしていきたい。日々のかかわりの中で、話を引き出せるような関係性も作っていきたい。バリアフリーでない家が多いので、手すりの設置が多く、目に見える形での波及の仕方をまずは行っていきたい。

問 ケアマネージャーの活動について

答 介護サービスを使う場合、月1回、モニタリングを行わなければいけないが、保健師だけでは賄えないため、松下ケアサービスに委託している。松下ケアサービスも1人のケアマネージャーが7島をななしまを使用して訪問しているため、調整やタイミングのつなぎを補う必要があると感じる。連携の在り方等について、ケアマネージャーへ島の現状等を深く伝えることも必要と感じている。

▼中之島の検診の様子



